



2013年度(平成26年3月期)
決算説明会

エーザイ株式会社

2014年5月13日

h/c
human health care

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論、結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保健関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。

2013年度 連結業績(日本基準)



(億円、%)

	2012年度		2013年度		
	実績	売上比	実績	売上比	前期比
売上高	5,737	100.0	6,004	100.0	105
売上原価	1,741	30.3	1,882	31.3	108
売上総利益	3,996	69.7	4,122	68.7	103
研究開発費	1,204	21.0	1,305	21.7	108
販売管理費	2,087	36.4	2,105	35.1	101
営業利益	705	12.3	711	11.8	101
経常利益	656	11.4	649	10.8	99
当期純利益	483	8.4	330	5.5	68
当期純利益(特殊要因の影響*1を除く)	-	-	461	7.7	95
EPS(円)	169.38		115.56 (161.52)*4		68
Pharma EBIT*2	1,908	33.3	2,017	33.6	106
ROE(%)	10.9		6.8 (9.3)*4		62
キャッシュ・インカム*3	1,007		836 (954)*4		83

*1 構造改革(欧米における研究開発体制の改編、美里工場の事業譲渡、希望退職募集)による影響、ならびに復興特別法人税の1年前倒し廃止に伴う税率変更による影響

*2 Pharma EBIT: 営業利益+研究開発費

*3 キャッシュ・インカム: 成長投資、株主還元、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額

算式: 純損益+有形・無形固定資産減価償却費+インプロセス研究開発費+のれん償却額+減損損失(投資有価証券評価損含む)

*4 カッコ内は特殊要因の影響*1を除いた数値

2013年度期中平均レート: 米ドル: 100.23円(前期変動率+20.6%)、ユーロ: 134.36円(同+25.4%)、ポンド: 159.44円(同+21.6%)

2013年度業績のポイント



1. 2012年度を上回る売上高、営業利益を達成

- 前期比で売上高105%、研究開発費108%の投入により営業利益101%
- 次世代6品目、成長セグメント(アジア事業、ジェネリック事業)の順調な拡大

2. プロダクト クリエーションにおける2大マイルストンの達成

- Biogen Idec社との次世代アルツハイマー型認知症治療剤(E2609, BAN2401)に関する共同開発、共同販促契約の締結
- Lenvatinib フェーズIII試験(SELECT)*1で主要評価項目を達成

3. グローバルブランド育成に向けて積極的に資源投入

- 米国における新薬(BELVIQ、Fycompa)に資源投入
- Global Business Matrixによるグローバル マルチブランド体制への移行

4. 急成長を見込むアジア、ストラテジック マーケット*2に新薬による布石

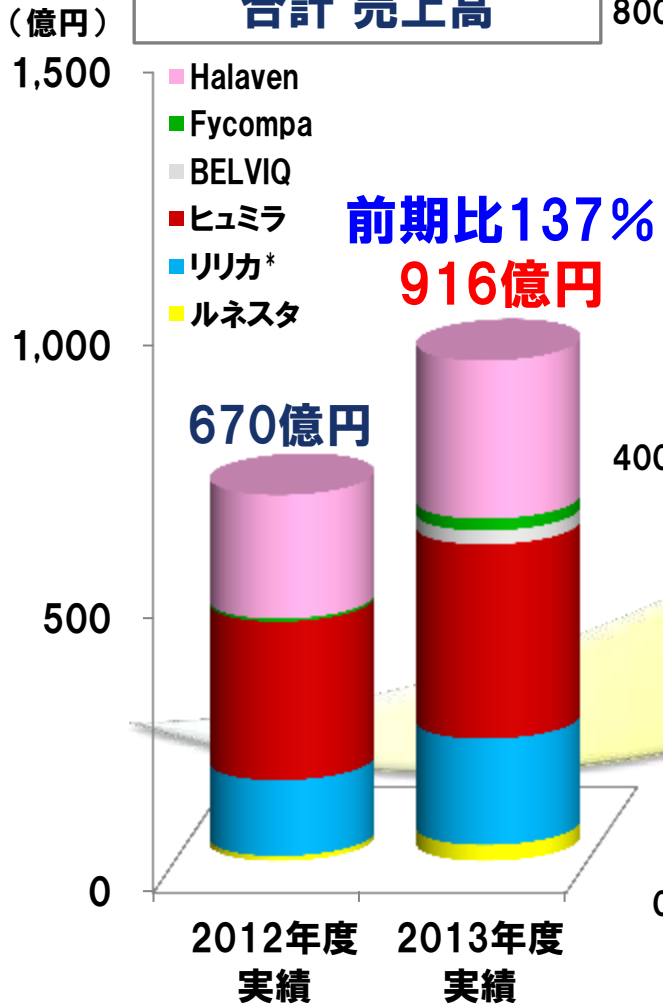
5. 全社を挙げて構造改革を推進、効率的なオペレーションを追究

*1 放射性ヨウ素治療抵抗性の分化型甲状腺がんを対象としたフェーズIII試験

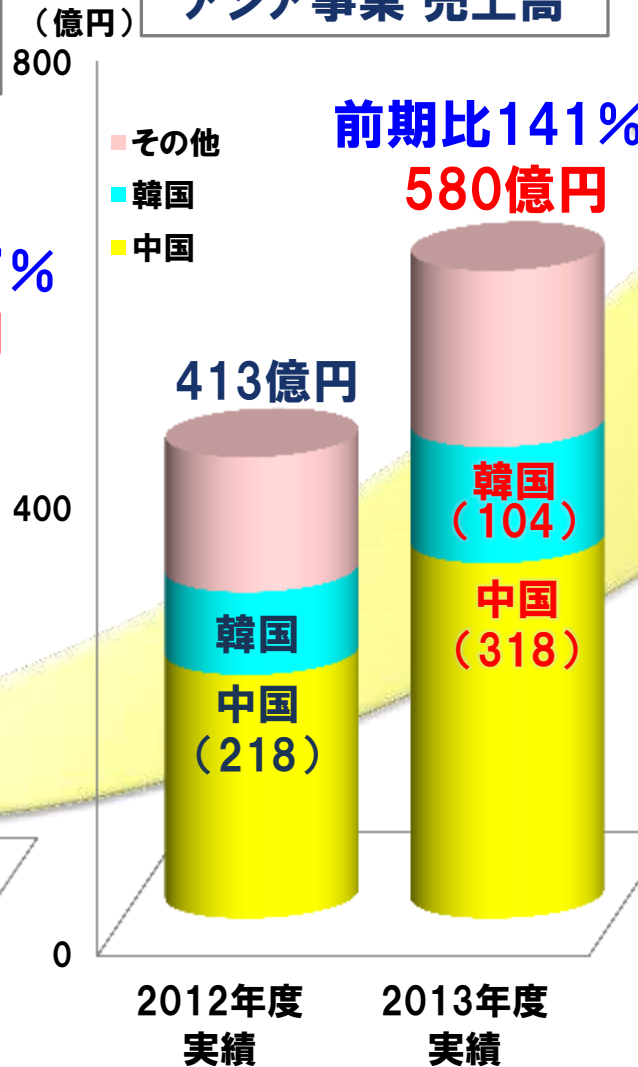
*2 カナダ、メキシコ、ブラジル、ロシア、中東、オーストラリア

次世代6品目、アジア事業、ジェネリック事業の順調な拡大

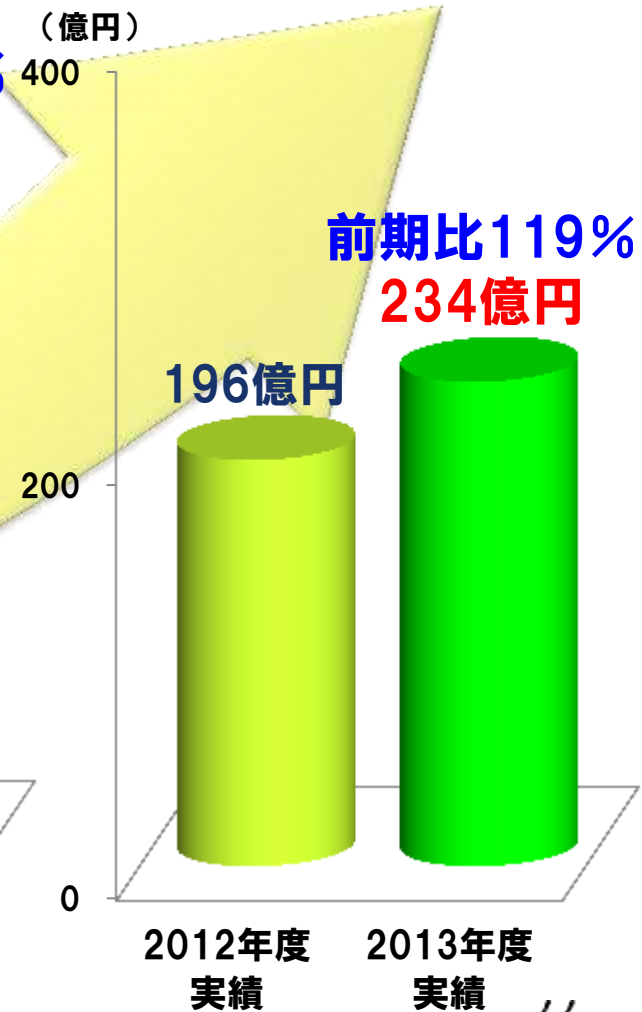
次世代6品目 合計 売上高



アジア事業 売上高



ジェネリック事業 売上高



2013年度国内医薬品事業は増収増益を達成 売上高前期比101%、セグメント利益前期比111%



国内アリセプト2013年度売上高650億円の確保 オンコロジー領域、次世代3品目の成長

アリセプト価値増大の追究
アルツハイマー型認知症
未薬物治療患者様
約200万人*1への
継続的アプローチ

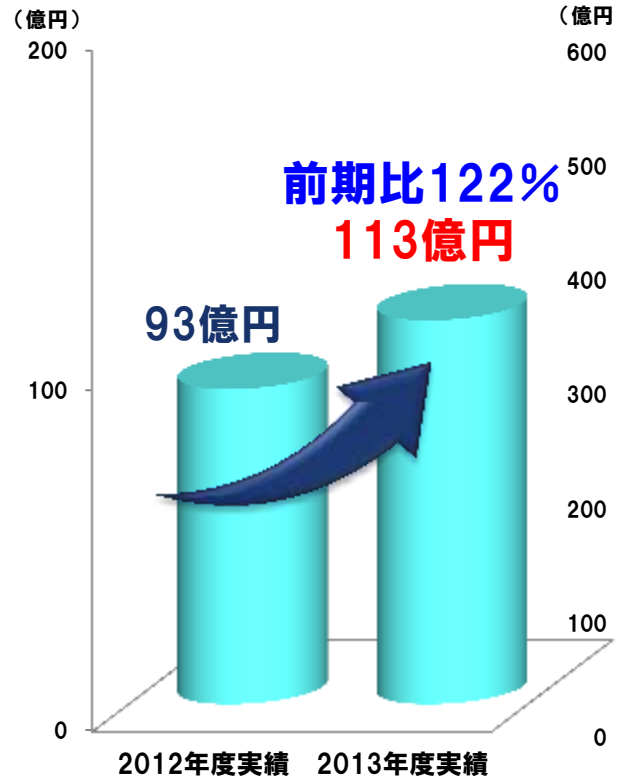
適応の拡大

- レビー小体型認知症の承認申請
- ダウン症候群の退行様症状に対するフェーズII試験進行中

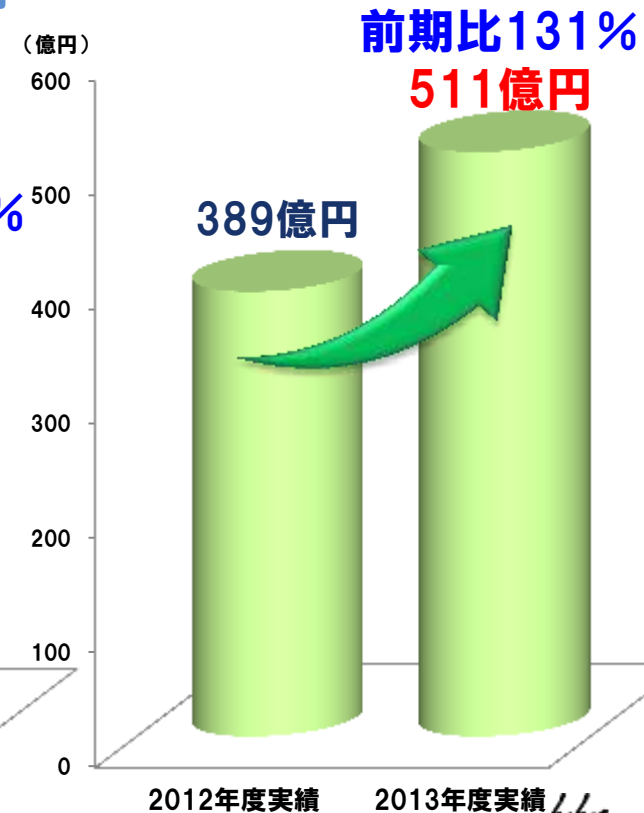
新剤形の開発

- 服薬困難な患者様のニーズに対応したドライシロップ剤上市
- 23mg錠とパッチ剤の開発中

オンコロジー領域3製品*2 売上高推移



次世代3品目売上高推移 (ヒュミラ、リリカ*3、ルネスタ)



次世代AD疾患修飾剤(E2609、BAN2401)に関する 共同開発、共同販促契約をエーザイとBiogen Idec社で締結

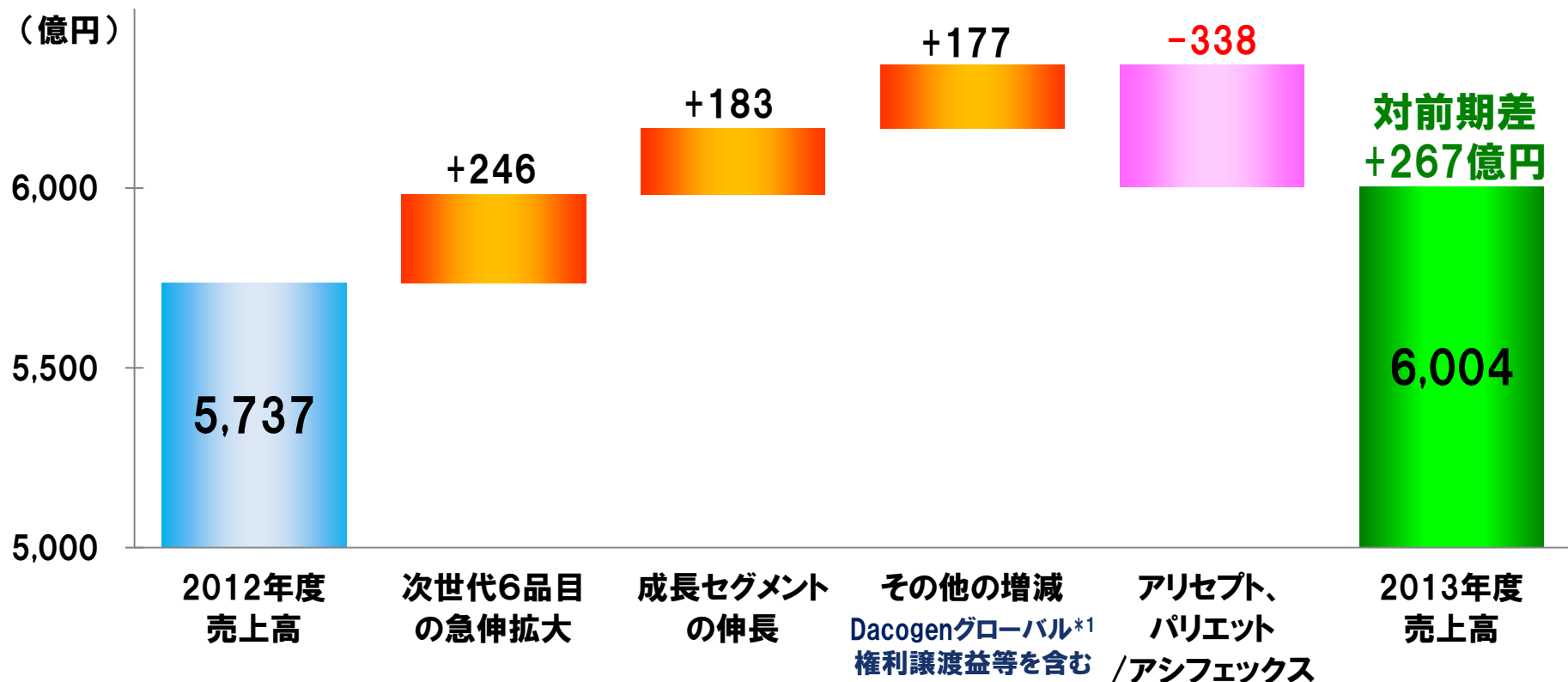


- エーザイ主導のもと、E2609、BAN2401の開発を進める
- 申請および承認取得はエーザイが行い、研究開発費用等の費用は両社で分担
- 承認取得・発売後の売上高はエーザイに計上され、共同販促地域における利益は両社で分配
- エーザイはBiogen Idec社より契約一時金、共同研究の進捗および売上高達成に応じたマイルストーン支払いを受領
- Biogen Idec社の開発しているAD治療剤の共同開発、共同販促に係るオプション権を保有
- エーザイは、日本における共同開発、共同販促に係るオプション権を行使し、Biogen Idec社より一定の一時金を受領するとともに、日本における上市時にマイルストーン支払いを受領（5月6日にオプション権行使）

成功確率の向上とスピードアップをめざす

2013年度 売上高の増減要因分析

次世代6品目、成長セグメントの拡大が増収に貢献



- 次世代6品目**
- ◆Halaven +63
 - ◆Fycompa +16
 - ◆BELVIQ +25
 - ◆ヒュミラ +65
 - ◆リリカ*2 +56
 - ◆ルネスタ +20

- 成長セグメント**
- ◆アジア事業*3 +145
 - ◆ジェネリック事業 +38

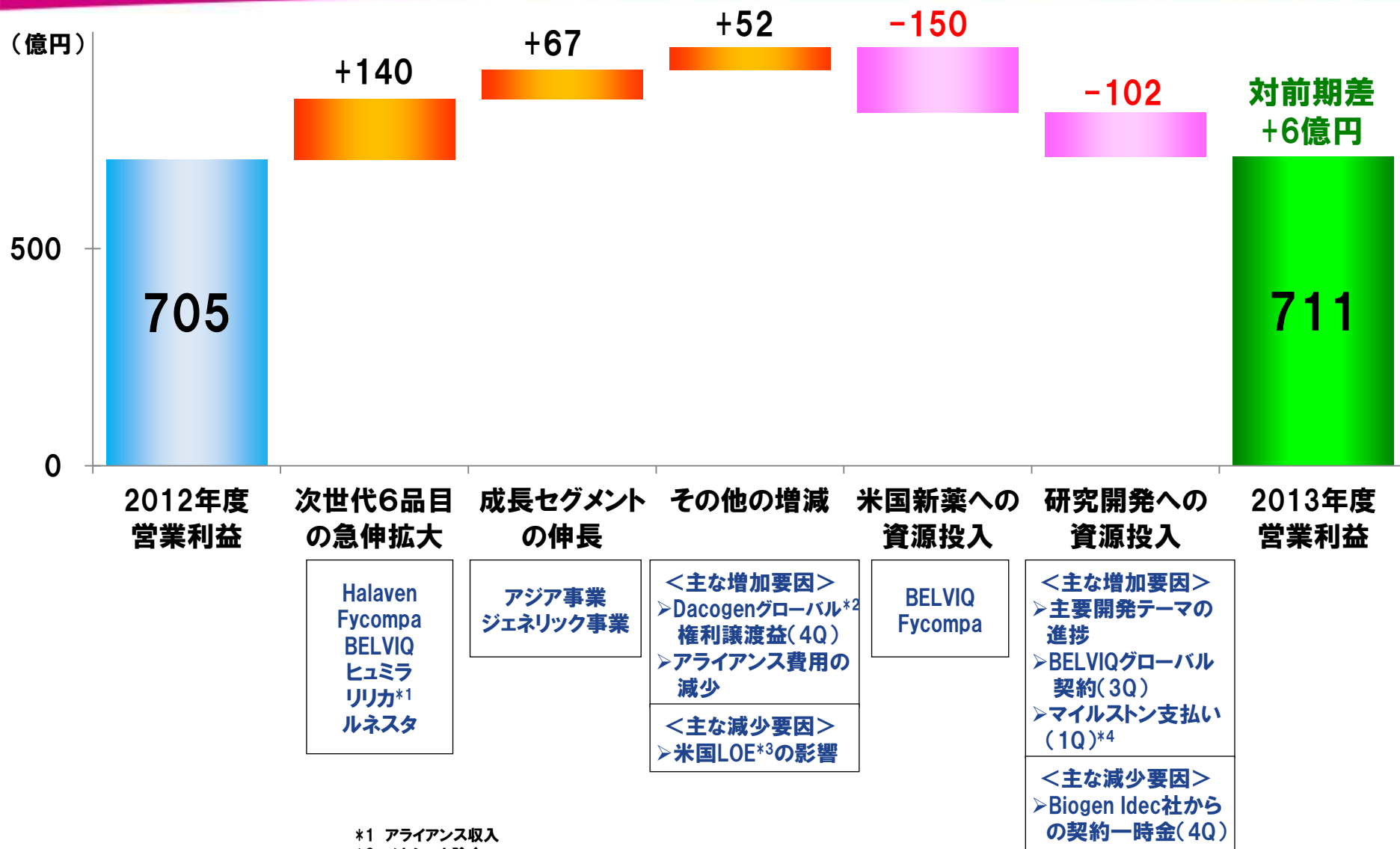
- ◆アリセプト*4 -154**
- ◆パリエット*4 /アシフェックス -184**

* 増減要因の数値は概数

*1 メキシコを除く *2 アライアンス収入 *3 次世代6品目の実績は除く *4 アジア事業の実績は除く

2013年度 営業利益の増減要因分析

米国における新薬と研究開発に積極的に資源投入



2012年度
営業利益

次世代6品目
の急伸拡大

成長セグメント
の伸長

その他の増減

米国新薬への
資源投入

研究開発への
資源投入

2013年度
営業利益

Halaven
Fycompa
BELVIQ
ヒュミラ
リリカ*1
ルネスタ

アジア事業
ジェネリック事業

<主な増加要因>
 >Dacogenグローバル*2
 権利譲渡益(4Q)
 >アライアンス費用の
 減少
 <主な減少要因>
 >米国LOE*3の影響

BELVIQ
Fycompa

<主な増加要因>
 >主要開発テーマの
 進捗
 >BELVIQグローバル
 契約(3Q)
 >マイルストーン支払い
 (1Q)*4
 <主な減少要因>
 >Biogen Idec社から
 の契約一時金(4Q)

*1 アライアンス収入

*2 メキシコを除く

*3 アシフェックス、Dacogen、アリセプト23mg

*4 Lenvatinib メラノーマProof of Concept 達成、BAN2401 Ph.II開始、E7438 Ph.I/II開始

* 増減要因の数値は概数

新ビジネスモデル・Eisai Global Business Matrix移行の背景



- ◆ 世界同時開発がCommon Practiceとなっている
- ◆ 世界の市場は価格政策／保険償還でつながっている
- ◆ Medical Practiceの標準化が進行している
- ◆ 審査当局、保険償還当局は国際連携を強めている
- ◆ Universal Health Coverageはグローバルに拡大する



したがって、国毎のバラバラな戦略は様々なリスクをもたらす

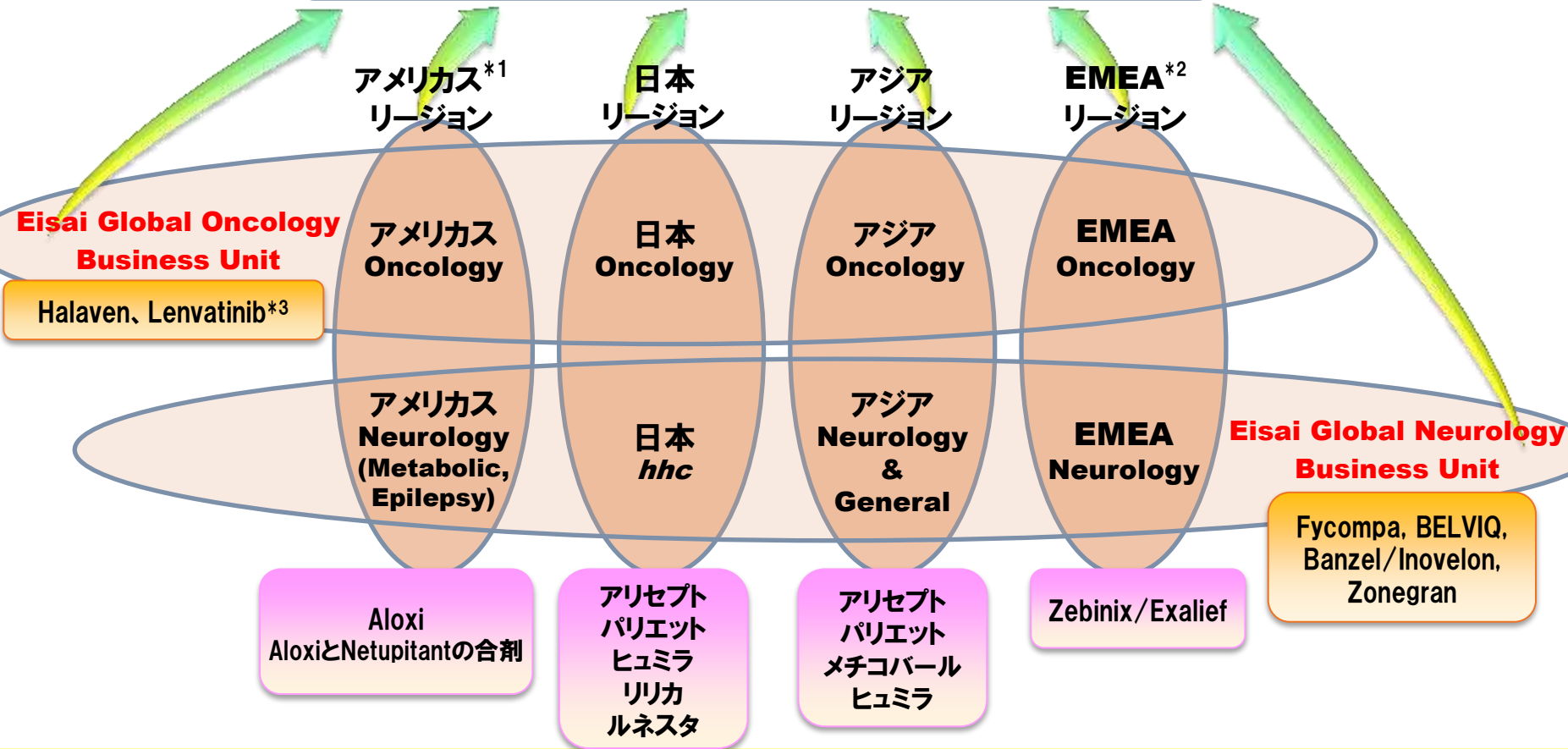
||

各国の状況を勘案し、統一された
グローバルブランド戦略の下に展開することが重要

成長軌道へ復するための新ビジネスモデル Eisai Global Business Matrixの概要



Global Business Committee
世界に目配りするビジネスユニットとリージョンの実現



統一されたグローバルブランド戦略を軸にマルチブランドの早期育成に注力
同時にローカルブランドはリージョンの責任により最大化

*1 米国、カナダ、メキシコ、ブラジル

*2 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア

*3 申請前製品につき一般名で記載

2014年度われわれの戦略意思



**アリセプト、アシフェックスLOE後の
世界最大マーケット米国の復活を含め
グローバルブランドの誕生・育成に資源投入**

**業界最強レベルのプロダクト クリエーションの
実現に向けた資源投入**

**将来の大市場創造に向け
アジア、ストラテジック マーケットに資源投入**

2014年度は2015年度よりの成長回帰に向け資源投入を断行

グローバルブランドの誕生・育成

Halaven
Fycompa
BELVIQ

Lenvatinib*

450億円レベル
の資源投入

アリセプト、アシフェックスLOE後の
世界最大マーケット米国の復活を含め
グローバルブランドの誕生・育成に資源投入

2014年度
1100億円レベルの資源投入

アジア、ストラテジックマーケットの育成

アジア、
ロシア、メキシコ、
ブラジル、カナダ、
オーストラリア、中東

300億円レベル
の資源投入

将来の大市場創造に向け
アジア、ストラテジックマーケットに資源投入

プロダクト クリエーションの加速



350億円レベルの
資源投入

業界最強レベルの
プロダクトクリエーションの
実現に向けた資源投入

グローバルブランドの誕生・育成, Halaven

拡大する適応症によるBackbone Chemotherapy Positionの確立



➤ 患者様アクセスの最大化

- ✓ MBC*1早期ラインでのシェア拡大
(日本:全ライン、欧州:2ndライン*2、米国:3rdライン)
- ✓ 新規上市国での急伸拡大
2014年度上市予定国(15カ国):メキシコ、ブラジル、ヨルダン、サウジアラビア、クロアチア、UAE、オーストラリア、バーレーン、オマーン、カタール、ボスニア、エジプト、ミャンマー、インドネシア、ラオス
- ✓ 地域や患者様の所得に応じたプライシングポリシーによる患者様貢献拡大

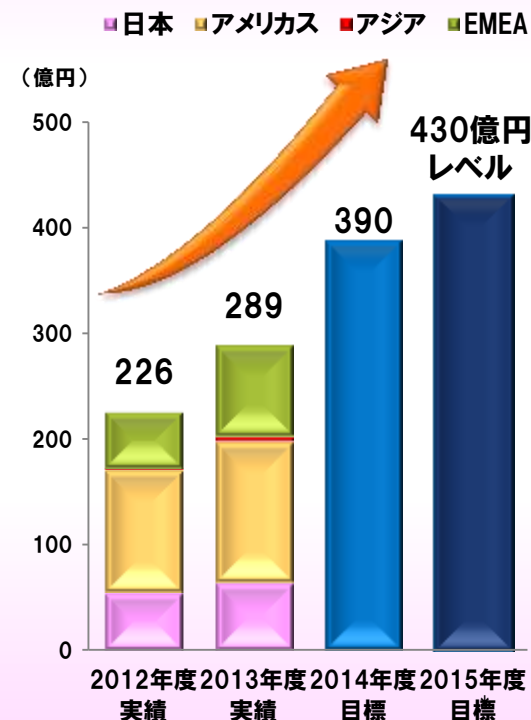
➤ 適応拡大、新製剤開発の追究

- ✓ 非小細胞肺癌(2014年度上期 トップライン結果予定)
- ✓ 軟部肉腫(2014年度中 トップライン結果予定)
- ✓ リポソーム製剤、3mL製剤

➤ 新規エビデンスの創出と訴求

- ✓ HER2陰性乳がん1st/2ndライン(米国)Ph. III試験進行中
- ✓ 転移抑制メカニズム(仮説)の検証

世界53カ国にて
承認取得
(2014年4月末時点)



グローバルブランドの誕生・育成, Lenvatinib フェーズIII試験(SELECT)で主要評価項目を達成



放射性ヨウ素治療抵抗性の 分化型甲状腺がんのフェーズIII試験 統計学的に顕著な有意差をもって PFS*1を改善し主要評価項目を達成

結果を米国癌治療学会議(ASCO*2)にて
口頭発表予定

- **セッション** : Head and Neck Cancer
- **時間** : 6月2日 AM10:28-10:40 (現地時間)
- **演題** : A phase 3, multicenter, double-blind, placebo-controlled trial of lenvatinib (E7080) in patients with ¹³¹I-refractory differentiated thyroid cancer (SELECT)

グローバルブランドの誕生・育成, Lenvatinib 難治性甲状腺がん治療のゴールドスタンダード薬をめざす



- **2014年度グローバル申請予定
2014-2015年度グローバル承認を見込む**
 - ✓ 日本:2014年度1Q、欧米:2014年度2Qに申請予定
 - ✓ カナダ、オーストラリア、ロシア:2014年度下期に申請予定
 - ✓ 2014-2015年度の日米欧グローバル承認、上市を見込む
- **統一されたグローバルブランド戦略により上市に万全を期す**
 - ✓ フェーズIII試験(SELECT)の統計学的に顕著な有意差をもったPFS結果を最大限活用
臨床、非臨床試験データからのエビデンス情報の整備
- **適応拡大の追究**
 - ✓ 肝細胞がん(2016年度申請予定)
 - ✓ 非小細胞肺がん
(2つの単剤フェーズII試験が進行中:3rdライン、RET転座)
3rdライン単剤療法の結果については、ASCO*にてポスター発表予定
5月31日 セッション:Lung Cancer - Non-small Cell Metastatic

グローバルブランドの誕生・育成, BELVIQ

薬物治療を含めたウェイトマネジメントのグローバルスタンダード確立をめざす

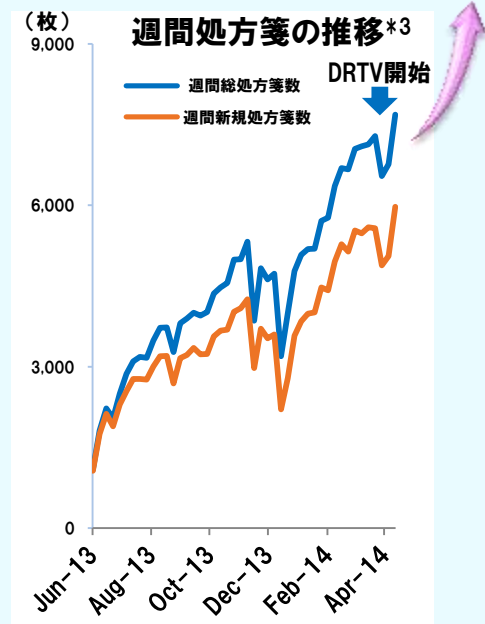


医師への
訴求

疾患啓発と
患者様支援

保険
カバレッジ

- 7月にMR数を現状の400名体制から600名体制へと増強
- 訪問医師の目標数を6万5千名から約9万名へ拡大
- 4月のDRTV*1開始後
累計7億2千万人が視聴*2
バウチャー申込数が3.5倍に増加
BELVIQ.COMの閲覧者が2倍に増加
(第1四半期、第4四半期に集中してDRTVを実施)
- 雑誌広告の継続でセービングカード等の認知を拡大
- 保険カバレッジ70%レベルをめざす



*1 ダイレクトレスポンス テレビ *2 社内推計値 *3 IMS NPA

グローバルブランドの誕生・育成, Fycompa てんかん治療のゴールドスタンダードとしての地位確立へ



最大市場である米国での情報提供活動を拡大

- MR数を上市時の55名から4月に90名に増員
- 部分てんかん患者様貢献拡大を企図し患者様支援プログラムを始動



米国Fycompa上市大会

欧州で新規患者様数が4倍に拡大へ

- ドイツにて2014年5月に追加有用性の再評価申請を当局に提出
- スペインでは2014年1月上市以来、競合品を上回るペースで好調に拡大

新規上市国をグローバルで拡大

2014年度新規上市予定国(22カ国)

- アメリカス:メキシコ、ブラジル
- アジア:香港、台湾、シンガポール、タイ、フィリピン
- EMEA:フランス、イタリア、オランダ、ベルギー、ポルトガル、ロシア、ルクセンブルク、ギリシャ、ヨルダン、レバノン、クウェート、カタール、イエメン、リビア、オーストラリア

**世界38カ国にて
承認取得**

(2014年4月末時点)

全般てんかん、小児、レノックス・ガストー症候群の適応拡大を追究

グローバルに統一されたブランド戦略による患者様貢献の最大化

- Banzel/Inovelon、ZonegranとFycompaのシナジーによるてんかんフランチャイズの強化

業界最強レベルのプロダクト クリエーション実現に向けて Oncology領域



Halaven

天然物由来の微小管ダイナミクス阻害剤

- 乳がん2ndライン : 2014年度1QにCHMPから回答予定
- 乳がん1st/2ndライン : 2019年度申請に向け米国でフェーズIII試験進行中
- 乳がん(304試験) : 2015年度に中国での申請に向けフェーズIII試験進行中
- 非小細胞肺がん : グローバル申請(2014年度3Q)
2015年度の承認を見込む
- 軟部肉腫 : 2014年度中のトップライン結果予定
2015年度に申請予定

Lenvatinib

新規結合型選択的チロシンキナーゼ阻害剤

- 甲状腺がん(日米欧でオーファン指定取得):
2014年度グローバル申請予定(日本:1Q、欧米:2Q)
2014年度から2015年度の承認を見込む
- 肝細胞がん : 2016年度の申請に向けグローバルフェーズIII試験が順調に
進行中

業界最強レベルのプロダクト クリエーション実現に向けて Neurology領域



Fycompa

AMPA受容体拮抗剤

- ・ 全般てんかん : 2014年度2Qに欧米で申請予定
2015年度中の承認を見込む
- ・ てんかん(日本) : 2014年度中のフェーズIII試験トップライン結果を見込む
日本において事前評価相談を経て2015年度申請予定
- ・ 懸濁液製剤 : 2015年度中に欧米で申請予定
- ・ レノックス・ガストー症候群:
2014年度4QにフェーズIII試験開始予定

BELVIQ

選択的セロトニン2C受容体作動剤

- ・ CVOT(心血管アウトカム試験) : 順調に進行中
- ・ 肥満症(日本) : 2014年度1Qに治験届を当局に提出
- ・ 肥満症(中国) : 2014年度1QにCTA*を当局に提出
- ・ 禁煙 : 2014年度4月にフェーズII試験開始
2014年度中の試験完了を見込む

業界最強レベルのプロダクト クリエーション実現に向けて Neurology領域



BAN2401

抗アミロイドβプロトフィブリル抗体

- ・アルツハイマー型認知症

- ✓フェーズII試験(POC試験、201試験):
アダプティブデザインを採用

早期(2015年度中)にトップライン結果を見込む

E2609

βセクレターゼ(BACE)阻害剤

- ・アルツハイマー型認知症

- ✓フェーズII試験(POC試験、202試験):
2014年度3Qに試験開始予定

E2006

オレキシン受容体阻害剤

- ・不眠症

- ✓フェーズII試験(POC試験、201試験):アダプティブデザインを採用
DMC*1からの早期終了勧告を受け、LPI*2を達成
2014年度1Qのトップライン結果を見込む

- ✓フェーズIII試験 :当局相談を踏まえ、2014年度4Q開始予定

Avatrombopag トロンボポエチン受容体作動剤

- 手術が予定されている慢性肝疾患における
血小板減少症：

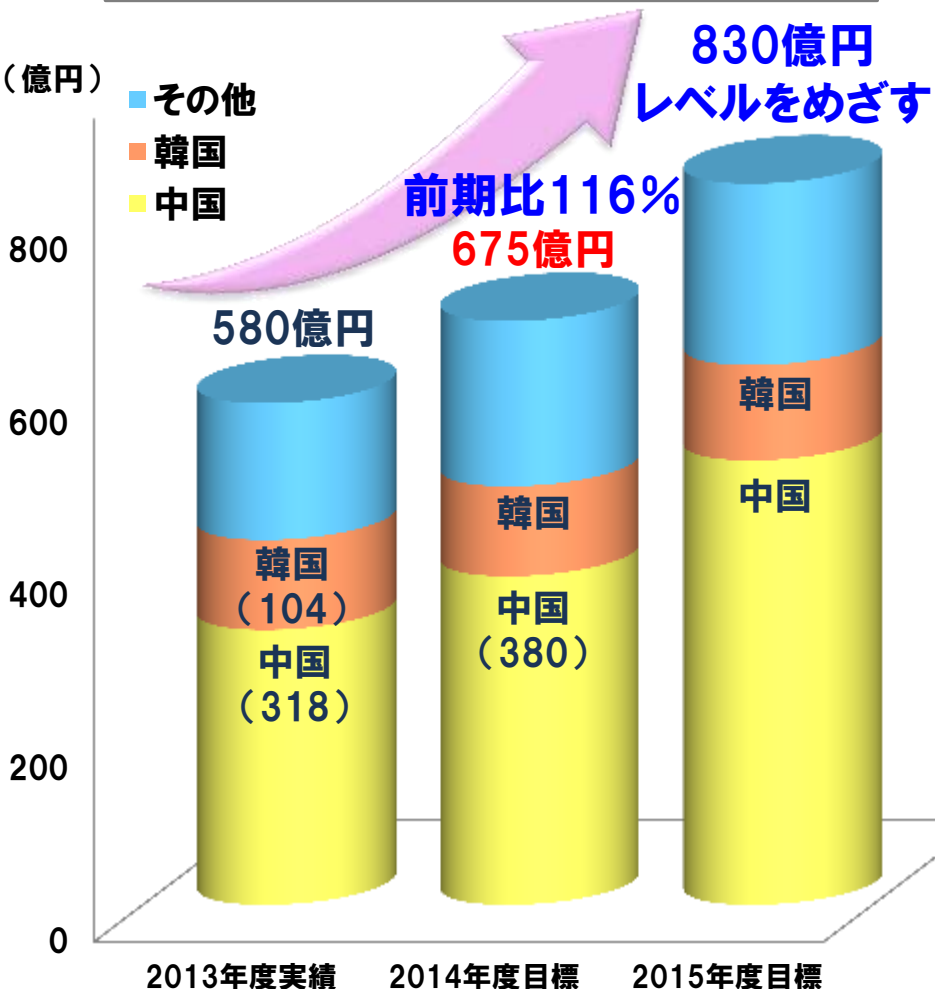
フェーズIII試験(310、311試験)が
順調に進行中

2015年度中にグローバル申請予定

アジア、ストラテジックマーケットに資源投入



アジア事業 売上高のTrajectory



新製品へのプロアクティブな資源投入

Halaven

Tiered Pricing Policyによる患者様アクセスの向上
 ・2014年度内承認取得予定国:インドネシア

Fycompa

承認国拡大により、てんかんフランチャイズ*1を構築
 ・既承認取得国:マレーシア(3月)、香港(4月)
 ・2014年度内承認取得予定国:
 台湾、シンガポール、タイ、フィリピン

主力市場の続伸

アジア売上高の70%以上を占める中国、韓国においてM&Aを視野に入れた更なる成長を企図

新興国市場インドチャイナ*2+インドネシアへ積極的な資源投入

- ・MR増員*3による病院カバレッジの急速拡大
- ・新製品を陸続と上市
- ・パリエット患者様支援プログラム*4を実施*5
- ・罹患人口の高い疾患領域にて患者様貢献を拡大



将来のコア市場へ育成

*1 Zonegranを韓国、インド、フィリピン、インドネシア、マレーシア、タイ、台湾にて上市済

*2 タイ、ベトナム、ミャンマー、カンボジア、ラオス

*3 ベトナム、ミャンマー

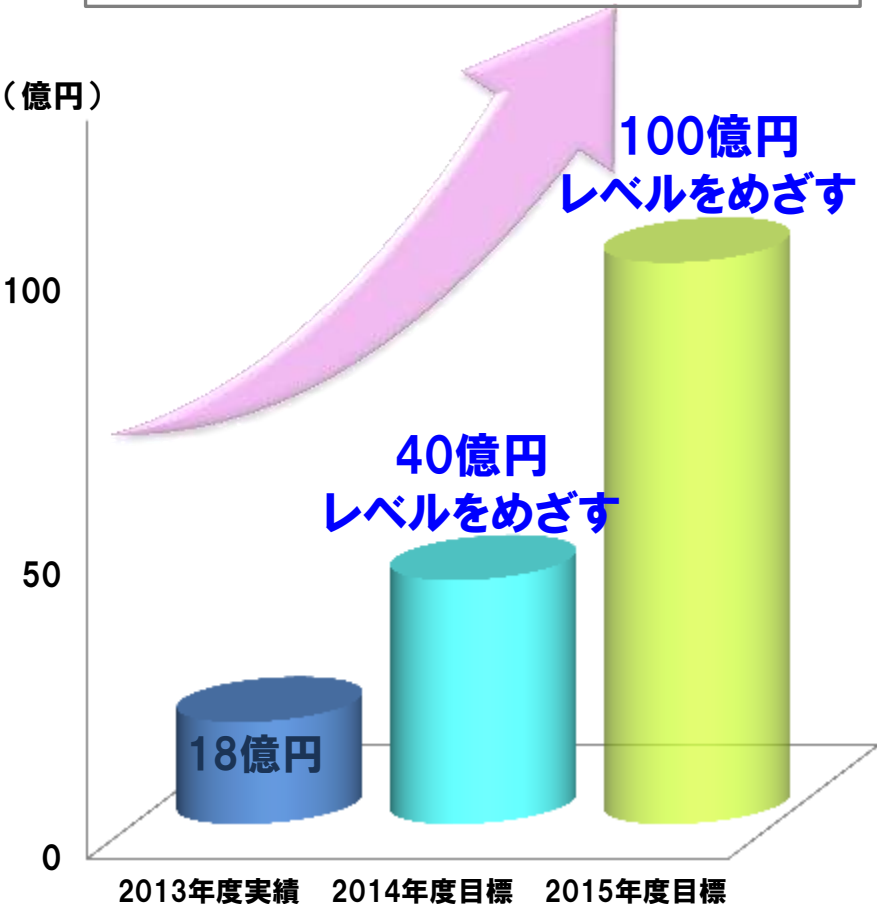
*4 患者様支援プログラム(PAP): 患者様の所得水準を考慮し、購入しやすい価格で医薬品を提供するプログラム

*5 ミャンマー

アジア、ストラテジックマーケットに資源投入



ストラテジックマーケット 売上高のTrajectory



ロシア

Halaven販売強化とZonegran4月上市
Fycompa、Exalief*¹の上市準備

カナダ

Halaven、Fycompa含む5品目*²の販売強化
BELVIQ申請済

メキシコ

Halaven、BELVIQ、Fycompa含む7品目*³申請済

ブラジル

Halaven承認取得済
BELVIQ、Fycompa含む4品目*⁴申請済

オーストラリア

Halaven2014年度中の上市に向け準備中
Fycompa申請済

中東

Halaven既上市3カ国*⁵
イスラエルでのFycompaの販売強化

*1 Zebinixのロシアの販売名 *2 Banzel, Gliadel Wafer, Halaven, Aloxi, Fycompa *3 Inovelon, Halaven, BELVIQ, Dacogen, Gliadel Wafer, Fycompa, Targretin
*4 Gliadel Wafer, Halaven, BELVIQ, Fycompa *5 イスラエル、レバノン、クウェート

2014年度 連結業績見通し(IFRS)



(億円、%)

	2013年度		2014年度		
	参考値	売上比	見通し	売上比	前期比
売上収益	5,995	100.0	5,660	100.0	94
売上原価	1,947	32.5	2,000	35.3	103
売上総利益	4,048	67.5	3,660	64.7	90
研究開発費	1,363	22.7	1,215	21.5	89
販売管理費等	2,021	33.7	1,915	33.8	95
営業利益	664	11.1	530	9.4	80
当期利益	385	6.4	350	6.2	91
Pharma EBIT*1	2,027	33.8	1,745	30.8	86
EPS(円)	134.1		122.4		91
ROE(%)	7.6		6.7		
DOE(%)	8.5		8.2		
キャッシュ・インカム*2	857		725		85
配当金(円)	150		150		

*1 Pharma EBIT: 営業利益+研究開発費

*2 キャッシュ・インカム: 成長投資、配当支払、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額

算式: 純損益+有形・無形固定資産減価償却費+インプロセス研究開発費+減損損失(投資有価証券評価損含む)

2013年度期中平均レート 米ドル:100.23円、ユーロ:134.36円、ポンド:159.44円、2014年度期中平均予想レート 米ドル:103円、ユーロ:140円、ポンド:170円

エーザイのResilienceを支える財務戦略マップ



成長回帰のための積極投資

- ・グローバルブランドの拡大
- ・アジア、ストラテジックマーケットの育成
- ・プロダクト クリエーションの加速
- ・M&A及びパートナーシップ

安定配当方針

- ・150円の配当維持
- ・資本コストを上回るDOE8%レベル

グローバルIR戦略

資本コスト低減を企図

価値創造を担保する投資採択基準 VCIC

(Value Creative Investment Criteria)

Debt Capacity
2000億円レベル

自己資本
5000億円超

成長投資と安定配当を両立する Strong Balance Sheet

	2012年度 実績		2013年度 実績		2014年度 見通し
Net DER*	0.27	⇒	0.14	⇒	0.1レベル
Net Debt/EBITDA	1.04	⇒	0.61	⇒	0.6レベル
自己資本比率	47%	⇒	54%	⇒	55%レベル

15年度より
成長軌道へ復す

シグナリング
効果

持続的な株主価値の向上

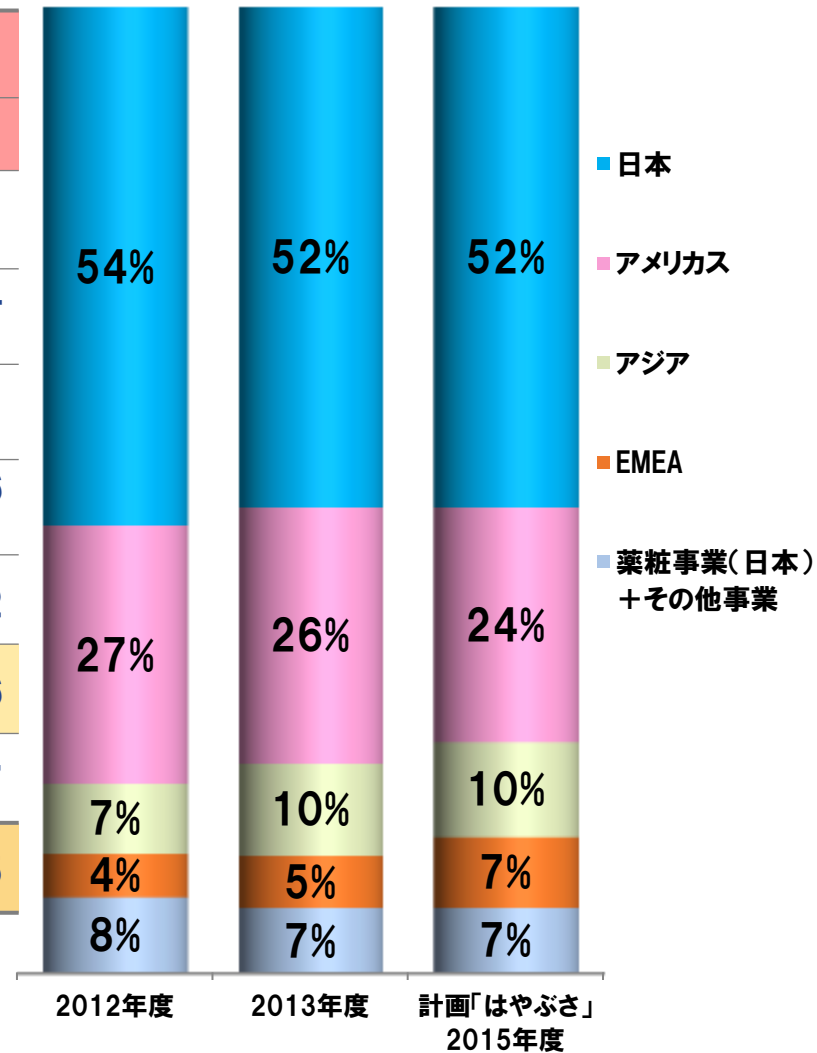
参考資料

セグメント売上高



(億円、%)

	2012年度		2013年度		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前期比
日本*1	3,078	53.7	3,107	51.7	101
アメリカス*2 [百万米ドル]	1,533 [1,845]	26.7	1,589 [1,586]	26.5	104 [86]
アジア*3	413	7.2	580	9.7	141 [116]
EMEA*4	258	4.5	325	5.4	126 [102]
薬粧事業(日本)*5	211	3.7	215	3.6	102
報告セグメント計	5,492	95.7	5,816	96.9	106
その他事業	244	4.3	188	3.1	77
連結売上高	5,737	100.0	6,004	100.0	105



[]内は現地通貨ベース

日本、アメリカス、アジア、EMEAは医薬品事業

またアメリカス医薬品事業の現地通貨ベースセグメント売上高は期中平均レートに基づき算出

*1 医療用医薬品、ジェネリック医薬品、診断薬

*2 北米、中南米

*3 中国、韓国、台湾、インド、アセアン

*4 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア

*5 一般用医薬品

セグメント利益



(億円、%)

	2012年度			2013年度				
	セグメント利益	構成比	利益率	セグメント利益	構成比	利益率	前期比	前期差
日本*1	1,389	69.5	45.1	1,547	73.0	49.8	111	158
アメリカス*2 [百万米ドル]	357 [429]	17.8	23.3	303 [302]	14.3	19.0	85 [71]	△54 [△127]
アジア*3	78	3.9	18.8	128	6.0	22.0	165	50
EMEA*4	20	1.0	7.8	41	1.9	12.5	202	20
薬粧事業(日本)*5	39	1.9	18.3	43	2.0	19.9	111	4
報告セグメント計	1,882	94.1	34.3	2,061	97.2	35.4	110	179
その他事業	117	5.9	48.0	59	2.8	31.3	50	△59
研究開発費および 親会社の本社管理費等	△1,294			△1,408			109	△114
連結営業利益	705		12.3	711		11.8	101	6

日本、アメリカス、アジア、EMEAは医薬品事業、またアメリカス医薬品事業の現地通貨ベースセグメント利益は期中平均レートに基づき算出

*1 医療用医薬品、ジェネリック医薬品、診断薬 *2 北米、中南米 *3 中国、韓国、台湾、インド、アセアン

*4 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア *5 一般用医薬品

[]内は現地通貨ベース

hbc
human health care

アリセプト パリエット/アシフェックス売上高



アリセプト (億円、%)

パリエット/アシフェックス (億円、%)

	2012年度	2013年度	
	実績	実績	前期比
日本*1	724	651	90
アメリカス*2 [百万米ドル]	110 [133]	39 [39]	36 [30]
アジア*3	81	120	148 [122]
EMEA*4	27	18	66 [53]
計	943	827	88

	2012年度	2013年度	
	実績	実績	前期比
日本*1	501	473	95
アメリカス*2 [百万米ドル]	514 [618]	377 [376]	73 [61]
アジア*3	43	57	132 [110]
EMEA*4	27	7	25 [20]
計	1,084	914	84

[]内は現地通貨ベース

[]内は現地通貨ベース

*1 医療用医薬品、ジェネリック医薬品 *2 北米、中南米 *3 中国、韓国、台湾、インド、アセアン *4 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア

日本医薬品事業の業績



(億円、%)

	2012年度		2013年度		
	実績	売上比	実績	売上比	前期比
売上高	3,078	100.0	3,107	100.0	101
医療用医薬品計	2,822	91.7	2,813	90.5	100
アリセプト	724	23.5	650	20.9	90
パリエット	501	16.3	473	15.2	95
ヒュミラ	241	7.8	288	9.3	119
メチコバール	261	8.5	252	8.1	96
リリカ*	139	4.5	194	6.3	140
ワーファリン	101	3.3	97	3.1	97
アクトネル	91	2.9	77	2.5	85
セルベックス	78	2.5	67	2.2	86
ハラヴェン	55	1.8	64	2.1	117
ジェネリック医薬品	196	6.4	234	7.5	119
診断薬	60	1.9	60	1.9	100
セグメント利益	1,389	45.1	1,547	49.8	111

* アライアンス収入

アメリカス医薬品事業の業績



(億円、%)

	2012年度		2013年度		
	実績	売上比	実績	売上比	前期比
売上高	1,533	100.0	1,589	100.0	104 [86]
Aloxi	367	24.0	429	27.0	117 [97]
アシフェックス	514	33.5	377	23.7	73 [61]
Dacogen	193	12.6	135	8.5	70 [58]
ハラヴェン	116	7.6	134	8.4	115 [95]
Banzel	52	3.4	76	4.8	147 [122]
Fragmin	97	6.3	60	3.8	62 [52]
アリセプト	110	7.2	39	2.5	36 [30]
BELVIQ			25	1.6	
Fycompa			8	0.5	
セグメント利益	357	23.3	303	19.0	85 [71]

[]内は現地通貨ベース

アジア医薬品事業の業績



<アジア>

(億円、%)

	2012年度		2013年度		
	実績	売上比	実績	売上比	前期比
売上高	413	100.0	580	100.0	141 [116]
メチコバル	104	25.1	161	27.7	156 [127]
アリセプト	81	19.6	120	20.6	148 [122]
ヒュミラ	49	11.9	68	11.7	139 [114]
パリエット	43	10.5	57	9.8	132 [110]
強力ネオミノファーゲンシー/グリチロン	53	12.9	55	9.5	103 [83]
ハラヴェン	1	0.3	5	0.9	476 [409]
セグメント利益	78	18.8	128	22.0	165 [123]

[]内は現地通貨ベース

<中国>

(百万RMB、%)

	2012年度		2013年度		
	実績	売上比	実績	売上比	前期比
売上高	1,648	100.0	1,938	100.0	118
メチコバル	681	41.3	844	43.5	124
強力ネオミノファーゲンシー/グリチロン	397	24.1	331	17.1	83
アリセプト	163	9.9	234	12.1	144
パリエット	99	6.0	135	7.0	136

EMEA医薬品事業、薬粧(一般用医薬品等)の業績



<EMEA*>

(億円、%)

	2012年度		2013年度			
	実績	売上比	実績	売上比	前期比	
売上高	258	100.0	325	100.0	126	[102]
ハラヴェン	54	20.9	87	26.7	161	[129]
ゾネグラン	48	18.6	67	20.6	140	[112]
アリセプト	27	10.6	18	5.5	66	[53]
Fycompa	5	2.1	14	4.3	257	[208]
パリエット	27	10.3	7	2.0	25	[20]
セグメント利益	20	7.8	41	12.5	202	[89]

* 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア

[]内は現地通貨ベース

<薬粧-日本>

(億円、%)

	2012年度		2013年度			
	実績	売上比	実績	売上比	前期比	
売上高	211	100.0	215	100.0	102	
チョコラBBグループ	112	53.0	120	55.7	107	
セグメント利益	39	18.3	43	19.9	111	

2013年度連結業績 IFRS導入の影響



(億円)

	売上 収益	売上 原価	研究 開発費	販売 管理費	その他 損益	営業 利益	営業外 損益 特別損益	金融 損益	税金 費用	当期 利益
日本基準	6,004	1,882	1,305	2,105	-	711	△129	-	250	330
販売奨励費の販売管理費から 売上控除への調整	△21			△21		-				-
導入品に係る販売権償却費の 追加計上		11				△11			△4	△7
構造改革費用の振替		53	29	51		△133	133			-
導入品に係る契約一時金 およびマイルストンの資産化			△53			53			19	34
IPR&D資産の減損損失計上			51			△51			△18	△33
減損損失(研究開発関連)の振替			18			△18	18			-
のれんの非償却化				△95		95				95
為替差損の振替					△20	△20	20			-
固定資産売却益の振替					31	31	△31			-
受取利息・配当金および支払利息の振替						-	40	△40		-
投資有価証券売却益の特別利益 からその他の包括利益への振替						-	△36	2	△12	△22
その他	12	1	12	△7	2	9	△15	△3	4	△11
調整計	△9	65	58	△72	12	△47	129	△41	△12	55
IFRS	5,995	1,947	1,363	2,033	12	664	-	△41	238	385